ファンがつくる 金沢競馬をもっと楽しむ情報誌

遊駿 plus

協　　力：金沢ホースマンクラブ
協　　賛：金沢競馬振興協議会
発 行 者：遊 駿 ＋ 編 集 部

無料
ご自由にお持ちください

www.kanazawakeiba.com

四月四日 平成二二年度開幕

勝手コラム「大外から」
新しい財布を狙え！

TOPICS
シーズンオフ、ほんのちょっといい話
「グランダム・ジャパン」ってなんだ？

2010年 4月
vol. 16

※ご意見、ご感想をお寄せください
宛先 Web : sites.google.com/site/yushunplus/
E-Mail : yushun.plus@gmail.com
F A X : 050 050-5552-3889

金沢競馬 開幕に寄せて

いよいよ平成二二年度の開幕。

昨年は古馬の重賞の勝ち馬が全て違うと言う確固たる中心の馬が不在だった金沢競馬。

今年度は昨年北國王冠を勝ったトウショウデザイアが中央へ復帰。強豪が一頭減りはしたが、勝ったオータムスプリントを始め重賞では安定的なナムラグローリー。転厩初勝利が重賞（中日杯）のゴールデンミッション、まだまだあなどれないビッグドン、復活を期すノーブルシーズなど多士済々。

また、昨年三歳の馬からはサラブレッド大賞典を勝って果敢にも東京大賞典に挑んだセイリュウザクラ。結果は出せなかったが、超一流馬で揉まれてきた経験は必ず生きてくるはず。

三歳馬に目を転じれば二歳重賞を制したファインスター（ヤングチャンピオン）とハヤテカムイオー（兼六園ジュニアステークス）が一歩リード。そこに重賞勝ちはないものの四勝を挙げているスパイシーターボ、同じく重賞勝ちはないが、園田と金沢で重賞二着二回のクラピカンハマー、三連勝でシーズンを終えたヤクシンロードなどが追う。

しかし、夏以降中央で未勝利を抜け出せない馬の転厩があるとがらっと勢力図が変わるのが三歳馬戦線。年末には全く違った勢力図となっている事もあるので目が離せない。

このように金沢競馬はまさに群雄割拠の大混戦。今年度、この状況を平定し金沢競馬の中心となるのは一体誰なのか。

今年も金沢競馬から目が離せない！

そして、今年も競馬を楽しむ為に。全てのホースマンとファンの健闘を祈りたい。

～TOPICS～ オフの話題あれこれ

▼シーズンオフ、ほんのちょっといい話。

今年の冬、金沢の二〇〇〇勝ジョッキー、中川雅之騎手が南関東に期間限定で騎乗した。二ヶ月間の短期間で八勝を上げる上々の成績であった。

大井での成績を見てみると一番人気での騎乗が六回あり、結果は五勝二着一回と準パーフェクト。二番人気、三番人気でも一つずつ勝ち星を得ており、上位人気馬に乗った時の信頼感は際立っていた。今年も人気にはきっちりと応える名人技は健在、信頼感は抜群のようだ。

そして、普段はあまり縁のない金沢競馬の騎手を前にした大井のファンに対して中川雅之ここにありと知らしめる事ができただろうし、同時に金沢競馬の存在もアピールできたのではないだろうか。

このような短期騎乗はもちろん騎手本人の武者修行にもなるが、同時に金沢競馬の営業活動にもなる。ベテランも若手も、もっと積極的にと他所の競馬場を経験してもらいたいし、金沢競馬をアピールしてきて欲しい。ファンにとっては金沢の場外で金沢の騎手を買う、と言うのも面白いだろう。

さて、中川騎手の上げた八勝のうちの一つは恐らく、南関東のファン以上に金沢競馬のファンにとって「ぐっ」とくる物があったのではないだろうか。

それは二月三日の最終レース、節分賞。中川騎手は一番人気に応えて見事勝利。勝った馬も十一ヶ月振りの勝利を飾った。

その馬の名はチヨノドラゴン。

そう、二〇〇七年まで金沢競馬に所属し、当地で十二勝を上げ、大井に転厩したあのチヨノドラゴンだったのである。

金沢にいた時代も後半はずっと中川騎手が騎乗し、大活躍していたチヨノドラゴン。

当時を見ていた者からすれば、一番人気で中川騎手が跨ったチヨノドラゴンはもう、勝利を約束されていたと言っても過言ではない。事実、堂々と一二〇〇mを逃げ切ったその姿は常に前々でレースを進めていた金沢競馬の頃と変わらなかった。強いあの頃を見ているようだった。

ちなみに、一番人気に応えての勝利は金沢競馬での最後のレース以来、約三年ぶりの事。

その時の騎手は。もちろん、中川雅之その人だったことを付け加えておこう。

金沢で活躍した馬が他場へ転厩するのは寂しいものではあるが、こうやって活躍している姿を見ると、ちょっと誇らしくも思う。今後もより一層の活躍を祈りたい。

Illust: ごんた

▼何かが始まる！「グランダム・ジャパン」ってなんだ？

いきなりの横文字なんか意味わかんね、って人にはサブタイトルの「地方競馬世代別牝馬重賞シリーズ」と言ったほうがイメージがわきやすいかも知れない。

地方競馬全国協会は今年、牝馬競走の振興と牝馬の入厩促進を図るため、新たに地方競馬全体で鳴り物入りの企画を始める。それが「グランダム・ジャパン」だ。

ざっくりと趣旨を説明すれば、二歳、三歳、四歳以上の各世代の牝馬が指定された重賞を走り、その結果にポイントを付与してその合計ポイントを競い、多くのポイントを獲得した馬にボーナスを与えると言うシリーズである。

金沢競馬場では古馬牝馬シリーズの開幕に夏の名物重賞「読売レディス杯」が組み込まれた。これによりこのレースは東海、近畿、中国の三地区交流競走から全国交流競走となり、船橋のユキチャンや大井のチヨノドラゴンも走る事が可能になる。いつになく華やかな重賞となる事が予想される。

しかし、他地区の牝馬を見られるのもいいが、やはりファンとしては金沢の馬がシリーズをにぎわせるような活躍を見たい。昔から牡馬よりも牝馬が活躍する傾向があるので大いに期待をしてみたい。

「ロジータふたたび。」が合言葉のグランダム・ジャパン。

さあ、いでよ金沢のロジータ!!

読者勝手コラム

大外から

新しい財布を狙え！

淀乃三千

三年で存廃を見極めるはずがまさかの判断先送りとなった金沢競馬。

こうなったら、今年は少しでも売り上げを伸ばさなければならない。しかし昨今の景気の悪さを見ると、ファンも限られた予算内で馬券を楽しむ事を余儀なくされ、財布の紐はいっそう硬くなりそう。

では、どうするか。ここはひとつこの不景気でも財布の紐が緩い方々に来場していただいて、馬券をたくさん買ってもらわないといけない。

さて、そんな人はどこにいるかとお思いだろう。しかし、いる。違うアプローチを試みれば確かにいる。

「痛レース」と言う言葉をご存知だろうか。

これは、冠レースを募集している公営競技において、アニメゲームのキャラクターや声優の誕生日と重なる日に、そのファンが自主的に申し込んで行なう記念レースの事。

そんなの見た事ない、と仰るかもしれないが、知らない人には普通の誕生日記念の冠レースに見えるだけ。分かる人には分かるのがこの痛レースの特徴と言える。

そんな痛レースが「分かる人達」に向けたアプローチも一考に価するのではないか、そう思わせるいい例がある。今年一月十五日の名古屋競馬第四競走、「桜高軽音部・澪ちゃん誕生日記念」と銘打たれたこの冠レースだ。

昨年、キャラクターの歌うCDがオリコンチャートを賑わせ、大きな話題となったアニメ「けいおん！」。そのキャラクターである秋山澪の誕生日を祝おうと、ファンが自主的に申し込んだレースだった。

このレースは名古屋のC四組という、ごくごく普通の一般競走。しかしいざ馬券を売り出し始めると一般競走とは思えない売れ方を見せ、最終的には単勝と複勝が次の第五競走（C三組）の約二倍売れたと言うから驚きである。

これはつまり、普通の競馬ファンに加えてこの「分かる人達」が買った分の上乗せ分があったからであろう。もし、このような痛レースを上手に使いこなすことが出来れば、これは大きな売り上げ増に繋がるのではないだろうか。

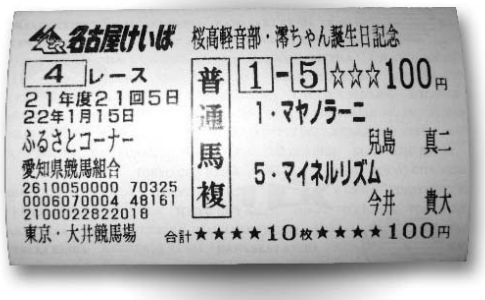

Photo: アイタマ

よく言われるのが、この「分かる人達」のお金の使い方は一般の人とは明らかに違うということ。

彼ら（彼女ら）は、そのアニメやキャラクターの為ならば多少の無茶と思えるようなお金の消費もいとわない傾向がある。すなわち「欲しいと思った物は何としてでも買う」のである。

従って、お気に入りのキャラクターのためなら例え競馬が分からなくても馬券は買ってもらえるだろうし、例え事情があって買えなくても誰かに頼んで買うだろう。あるいは詳しい人に聞いて買うかも知れないし、場合によっては開催場にまで足を運んでレースを実際に見てもらえるかも知れない。

痛レース限定とは言え、確実に購買を期待できるのがこの「分かる人達」と言えそう。つまりこの人達が楽しめるように、そして、満足できるような対応をすれば、金沢競馬の売り上げと（様々な意味での）知名度の向上も期待できるのだ。

幸い、金沢競馬には冠レースの制度はある。しかし、現状のままでは問題がある。

それは馬券。痛レースの馬券を買う人達にとって、そのレースの馬券はファングッズの一つ。欲しいのは「桜高軽音部・澪ちゃん誕生日記念」の馬券であって「サラ系C四組」の馬券ではない事を理解しなければならない。

そうなると馬券にはレース名の印字が必須となる。ところが金沢競馬の馬券にはレース名どころか馬名すら出ていない。これは大問題。

痛レースを楽しむ人もそうだが、普通の競馬ファンも「あの馬の馬券を買う」とか「このレースの馬券だから買う」と言った応援馬券や記念馬券として馬券を買うファンも多いはず。過去にはスーパーオトメ、ハルウララ、現役ではユキチャンと言ったスターホースが現れた時、その名が刻まれた馬券は記念グッズとして存在していた記憶も新しい。

そう言ったファンとって、一見しただけでは白山大賞典かアクアマリン特別かの区別がつかない馬券ではがっかりだし、そのような馬券は所持する意味、ひいては購買する意味すら失う。

また普通の競馬ファンで「北國王冠的中した！」と言って自慢しようと思っても、日付とレース番号見て確認しないと本当にそのレースなのかわからないのでは、自慢する気も萎える。

もっとも、券売機の問題もあるからそう簡単にとは言えないかもしれない。しかし、こう言った欠点もファンサービスの一環として是非とも改善すべきであるだろう。

このような人達の、金沢競馬全体の売り上げに対する貢献は微々たる物かもしれない。しかし、この誰よりも一途なファンを大切にする事が、他の競馬ファン、ひいては全ての馬券を買う人達を大切にする事に繋がると思う。

様々な人が馬券を買う事を楽しむ。どんなファンでも根本は同じ。さまざまなイベントもいいが、こう言う基本的な所の改善も必要と強く訴えたい。

編集後記

三回目の開幕号を迎えた遊駿+、いかがでしたでしょうか。

毎年の事ですがシーズンオフになるとネタがほとんどなく、原稿の執筆には四苦八苦する開幕号でしたが、今年は新人&復帰の騎手や遠征など比較的話題はあったので、いつもの開幕号に比べたら恵まれた方だったのかなと思います。

そんな情報の中で地味ながらも目に留まった話題がありました。今年、金沢競馬のレース名で石川県の名所旧跡・地名を冠したレースが登場すると言う話題です。

中央競馬もそうですが、他の地方競馬でも地名や名所旧跡を冠したレースは行われています。それによって競馬場のある地元を知り、また地元民にとっても競馬場に愛着を抱けるようにもなって行きます。

さらに、今や競馬は電話、ネットを通じてどこでも買え、また見る事もできます。

今、金沢競馬にある地名を冠したレースは「兼六園ジュニアステークス」と「白山大賞典」のみ。正直、個人的にはあまりにも行なうのが遅かったと言う印象を持ちましたが、金沢のみならず、石川の観光地の名前を売る事にもつながり、競馬以外にもいい影響が出るようになればと思います。

石川県には兼六園と白山以外にももっとたくさんのいい所があると言う事を、金沢競馬を通じて全国へ発信できるといいですね。

微力ながら、われわれ遊駿+も、頑張りたいと思います。

▼金沢競馬 新人騎手来たる！

騎手の引退が続き、ファンとしては寂しい想いが続いていた金沢競馬。しかし、今年度は一気に三名の新しい騎手が加入する。

その内訳は、二名は過去に他場で腕を振るっていて今回は復帰となり、一人は騎手候補生からの新人でニューフェイスとなる。

まだ何にも染まっていない、あるいは別の色に染まっている彼らの存在が金沢競馬に新しい風を吹かせ、競馬を盛り上げていって欲しい。そして、馬券の配当でもファンを喜ばせてくれる事に期待しよう。

服部大地（佐藤茂厩舎所属）

一九八一年四月二五日生まれ。旧上山競馬所属で廃止までの三年間に三〇勝を上げる。

二〇一〇年は一月より一足先に笠松競馬で騎乗中。三月三日時点で勝ち星はないものの、馬券に絡んだ三回はいずれも十番人気と八番人気と波乱の立役者となっている。

笠松では総じて人気よりも上位に来ている事が多く、馬券の検討から外すことはできなくなりそうだ。

ちなみに、笠松での勝負服は黒と白のシックな印象。その渋さで覚えておきたい。

葛山晃平（菅原欣也厩舎所属）

一九七九年十二月七日生まれ。元岩手競馬所属で一九九七年の初騎乗より八年間で二一五勝を上げる。

岩手所属の頃は重賞に縁がなかったが、着実に勝ち星を重ねてリーディング最高十一位（二〇〇二年、四〇勝）を記録。

岩手時代の後半では騎乗馬に余り恵まれなかったのか、下位人気の馬での騎乗が多く、成績も振るわなかった。しかし、人気よりも一つでも上の着順を確保している所を見ると腕は確かな様子。

ちなみに、岩手時代の勝負服は金沢の桑野等騎手とよく似ている（袖の色違い）。当地での勝負服がどうなるかそちらにも注目。

糸井拓哉（高橋道雄厩舎所属）

一九九〇年九月二一日生まれ。地方競馬教養センターの第八八期生である糸井騎手がこのたび晴れて騎手試験に合格となり、金沢競馬からデビューすることとなった。これは金沢競馬初となる平成生まれの騎手となる。

移籍以外では久しぶりの新人。一つでも勝ち星を重ねてリーディング争いに加われるような騎手となってほしい。

▼今春デビュー競走馬の名前募集

金沢競馬では、社団法人石川県馬主協会の協力のもとデビュー前の競走馬の名前を募集している。

若駒たちにステキな名前を付けて、馬主気分を味わえるチャンス。あなたも競走馬の名付け親になってみてはいかがだろうか。

■応募方法■

[E-メールでの応募]

金沢競馬ホームページから専用ページに移動後、必要事項を入力して送信して下さい。

[ハガキでの応募]

ハガキに必要事項を記入し、左記住所まで送付ください。

〒９２０-３１０５
金沢市八田町西１番地
社団法人 石川県馬主協会
『馬名募集』係

[必要事項]

『郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、電話番号』
『馬番号と募集馬名』
『あなたがつけた馬名』
『名前とその由来及び理由』

■募集締切■

４月１４日（水）当日消印有効

■採用特典■

名付け親になられた方全員（同馬名が複数の場合は抽選で１名）に、次の景品をプレゼントします。

・テーブルケトル
・デビューレースのVTR（DVD-R）
・ハッピーくん人形
・平成二十二年度馬主席入場証

4月開催日程

日	月	火	水	木	金	土
4 本場	5 水沢	6 本場	7 笠松 大井ナイター	8 園田	9 笠松	10 佐賀 水沢
11 本場	12 水沢	13 本場	14 船橋 名古屋	15 荒尾 名古屋	16 荒尾 名古屋	15 水沢 福山
18 本場 HAB杯第20回スプリングカップ	19 水沢	20 本場	21 名古屋 大井ナイター	22 園田 名古屋	23 名古屋	24 水沢 福山
25 本場	26 水沢	27 本場	28 笠松 浦和 薄暮	29 浦和 薄暮 笠松	30 笠松	